

ツール 12：ステークホルダー分析：重要性と影響力のマトリクス

このツールの目的

MSPの関連課題や目標候補に関するステークホルダーそれぞれの影響力や利害のレベルを把握する。

このツールを使うタイミング

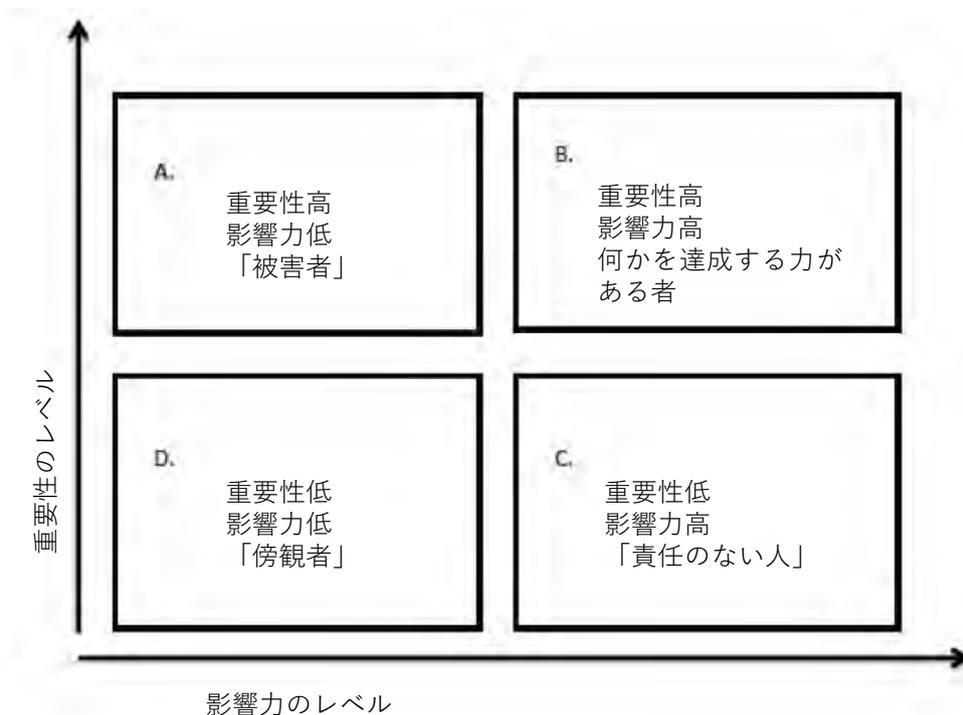
問題の深掘りと共通言語のフェーズ。MSP開始時にもこのツールは使うことができるが、MSP確立後の状況レビューの際に用いることもできる。未だ巻き込んでいない可能性のあるステークホルダー（候補）を特定する際に、このツールは特に役立つ。

重要性と影響力のマトリクスとは

重要性と影響力のマトリクスを作成することで、ステークホルダーとMSPにおける重要課題に対する彼らの関係をマッピングできる。このツールはまた、各ステークホルダーの重要性と影響力についての気づきを与えてくれる。この情報があれば、特定したステークホルダーに対する個別のアプローチと戦略の策定が可能となる。

重要性：各ステークホルダーのニーズや利害を満足させる優先順位

影響力：ある活動の目標を達成する上で、それを容易にしたり邪魔したりするステークホルダーの力。意思決定を行ったり、何らかの取り組みを実行する際に、そのステークホルダーが他者を説得したり強制したりできるレベル。



出典：APMAS Knowledge Network

重要性と影響力のマトリクス – ステップ・バイ・ステップ

必要な材料

必要なのは、フリップチャートまたはホワイトボードとマジックのみ。4つの象限とタイトル付きの2軸を描く。

重要性と影響力のマトリクスの作成法：

- MSPにおいて最も重要なステークホルダーを特定する。
- MSPが取り組む問題に対する各ステークホルダーの重要性を評価する。
- MSPが取り組む問題に対する各ステークホルダーの影響力を評価する。
- これらのステークホルダーを、特定した象限に書き入れ、参加者と共に間違いないかを確認する。

ステークホルダーの相対的な重要性と影響力に影響を与える変数：

正式な組織内および組織間：

- 法律上のヒエラルキー（指揮命令系統、予算の決定権者）
- リーダーの権威（公式、非公式、カリスマ、政治的、家族や幹部のコネ）
- 戦略的資源の統制権
- 専門知識・スキルの保有
- 交渉上のポジション（他のステークホルダーに対する力）

非公式な利益団体や主要ステークホルダー：

- 社会的・経済的・政治的ステータス – 組織化の程度、コンセンサス、グループ内のリーダー陣
- 戦略的資源の統制権を有するレベル
- 他のステークホルダーとのつながりを通じた非公式な影響力
- 他のステークホルダーへの依存レベル

重要性と影響力のマトリクスの作成が終わると、理想のステークホルダーは、MSPの目標に強い影響力を持ち、また高い関心を持つだろうということがはっきりしてくる。だが、それが傍から見ても明瞭であることはほとんどない。

このようにステークホルダーを分類することで、次のようなケースについて把握できるようになる：

- 高い影響力はあるが関心が低いステークホルダーを、関心の高いステークホルダー候補に変えるために、大規模な啓蒙キャンペーンが必要なケース
- 関心は高いが影響力の低いステークホルダーを、より強い影響力を持つステークホルダー候補に変えるために、大規模な能力開発が必要なケース

さらなる分析のために用いることができる間は、以下の通り：

- どのステークホルダーに影響を与えるどの問題について、MSPは対処または影響緩和を図るべきか？
- MSPが最もよく応えることのできるのは誰のニーズや利害、期待なのか？
- MSPの目的と最も緊密に融合できるのは、どのステークホルダーの利害なのか？
- MSPにネガティブな影響を与え得るステークホルダーは誰か？このネガティブな影響にどのように対処し、緩和すればよいか？

さらに知りたい方は：

DFID (2003). [Tools for Development - A handbook for those engaged in development activity.](#)

Hunjan, R. & Petit, J. (2011). [Power: A practical guide for facilitating social change.](#)